

1 研究の優れている点

平成21年度の研究成果

- ・ アンケート分析による課題の明確化
- ・ 特別非常勤講師連絡票の作成

実践を踏まえた仮説検証型研究

専門家との連携に基づく指導の実践

昨年度の課題
を踏まえた
アンケート

連携の課題
に対する
具体的実践

実践の検証
・
提言

2 研究との関連事項(1)

【理学療法士等の配置】

- 平成13年 文部科学省が、児童生徒の障害の重度・重複化に対応するため、調査研究協力者会議に対し特別支援教育の在り方を諮問
- 平成14年 「広島県障害児教育ビジョン」策定 3 教育の専門性の向上
- 平成15年 調査研究協力者会議が、「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」を答申
- 平成16年 中央教育審議会が、「特別支援教育を推進するための制度の在り方について（中間報告）」を提出
- 平成17年度～広島県で理学療法士等（特別非常勤講師）を配置

【医療的ケアの実施体制づくり】

- 平成10年度～「特殊教育における福祉・医療との連携に関する実践研究」
- 平成15年度～医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍する県立特別支援学校に看護師を配置
- 平成16年 「盲・聾・養護学校におけるたんの吸引等の取扱いについて（通知）」（16文科初第43号）
- 平成19年 『医療的ケアハンドブック』発行
- 平成21年 『医療的ケアハンドブック No.2』発行

2 研究との関連事項(2)

外部専門家の活用による効果

- 児童生徒の実態把握に係る視点の広がり
多面的な視点で捉える意識が向上
- 授業改善への意欲的な取組
不安感の解消，自信をもった意欲的な取組

参考：長野県教育委員会「外部専門家を活用した自立活動の指導方法改善の取り組み」平成22年度特別支援教育担当者会議資料，平成22年

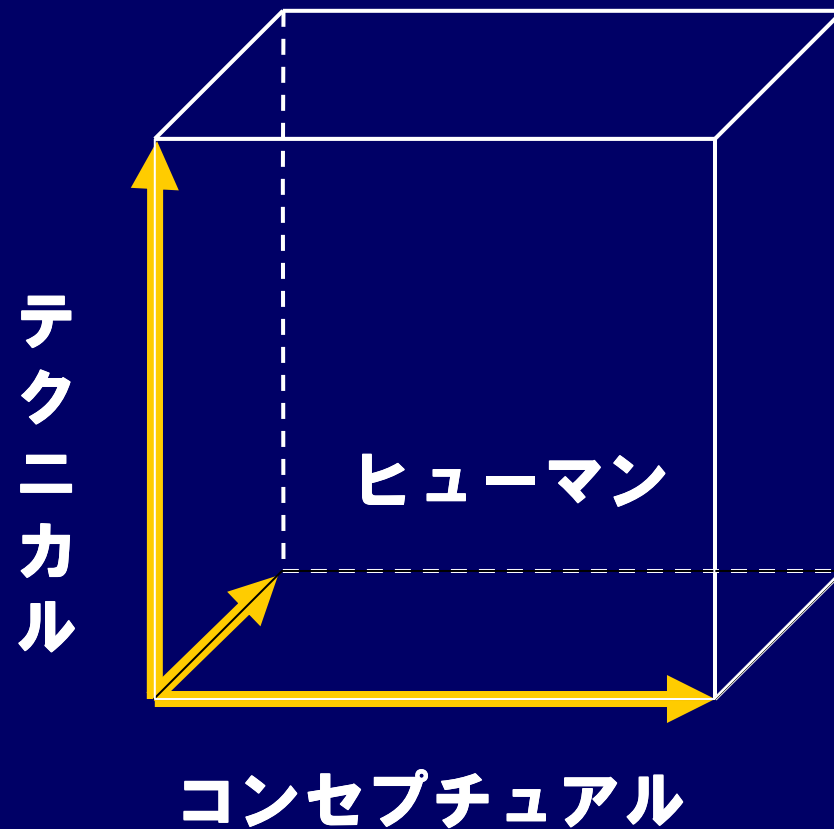
自立活動と医療的ケアは相互補完

- 口から食べることと経管による栄養補給
- 呼吸を促すこととたんの吸引

引用：下山直人「医療的ケアを必要とする子どもに対する教育上の配慮」平成22年度特別支援学校における医療的ケアに関する研修資料，平成22年

3 今後期待すること

教員の専門性モデル



テクニカル：目に見える実践的
技量

⇒専門的知識と指導技術 等

コンセプチュアル：内面的な思
考様式

⇒ものの見方，省察と熟考 等

ヒューマン：総合的な人間力

⇒人間理解，感性，対人関係能
力，協同性 等

参考：長沼俊夫「肢体不自由のある子どもの教育における教員の専門性向上に関する研究—特別支援学校（肢体不自由）の専門性向上に向けたモデルの提案—」国立特別支援教育総合研究所，平成22年